

健康的な生活を送ることができる幼児・児童生徒の育成

～ 歯・口の健康づくりを通して ～

福井県立嶺南東養護学校

35学級 117名

本校は、知的障害・病弱・肢体不自由などの様々な障害のある児童生徒を対象とした総合特別支援学校である。本研究では、一人一人の障害の状態や特性に応じた支援・指導を行うため、教職員、養護教諭、栄養職員、学校歯科医が連携し、口腔衛生状態向上のための取り組みを進めている。

実践内容

○養護教諭による歯科保健指導

6月の歯の衛生週間にあわせて、各学部に歯みがき指導を行った。指導した内容は、保健だよりに掲載し、保護者に紹介した。

○栄養職員による食育指導

噛むことの大切さ、栄養について、食と口との関係、歯によい食生活等について指導した。また、栄養と歯の関係についての掲示物を作成し、保健室前に掲示した。

○担任による給食後の歯みがき指導

歯みがき絵カードの作成と活用により、給食後の歯みがき指導の充実を図る。また、月1回歯ブラシチェックをし、毛先の広がりが見られる場合は歯ブラシの交換をすすめている。

○かみかみ献立の実施

毎月1回、給食に「かみかみ献立」の日を設け、噛むことの大切さを意識させるようにしている。

○学校歯科医との連携



学校歯科医による講話

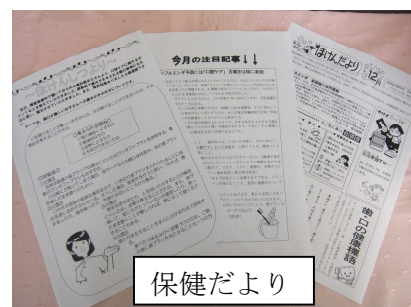
- ・充実した歯科健康診断の実施・・・一人一人の診査に十分な時間をとり、より丁寧に口腔内のチェックをしていただいている。
- ・教職員対象の講話・・・歯・口の健康づくりの意義、特別支援学校での取り組み等についてお話しいただいた。
- ・歯に関する個別相談・・・希望者を対象として、歯科に関する個別相談会を開催した。
- ・「障害をもつ児童・生徒の歯科協力医リスト」の作成

○保健だより・給食だよりでの啓発活動

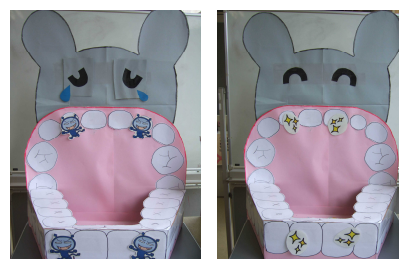
歯と口の健康に関する記事を掲載し、保護者への啓発活動を行った。

○歯・口の健康標語募集

いい歯の日にあわせて、歯と口の健康に関する標語を募集した。



保健だより



手作り教材 かばお君